

広報 おおくら

12

令和元年
No.724

心ち美しく 人いぎいき キラリおおくら



大蔵村が誕生して130年

● COVER
大蔵村保育所の子どもたち



村民憲章

平成元年4月1日制定

私たちは長い歴史とすぐれた伝統文化の息づく大蔵村を誇りに思います。私たちは、誓います。先人の遺業をうけつぎ新たな活力にみちた郷土発展のためこの憲章をかかげて進みます。

- | | | | |
|-----|------------|--------|------------|
| 第1章 | 四季うつしく色さえる | やすらぎの里 | 大蔵村をそだてます。 |
| 第2章 | 誇る歴史をうけついで | かたりつぐ里 | 大蔵村をまもります。 |
| 第3章 | 福祉と文化の花開く | ゆたかなる里 | 大蔵村をきずきます。 |
| 第4章 | 共どもにみなぎる力 | いきがいの里 | 大蔵村をつくります。 |
| 第5章 | 未来へと心はおどる | やくしんの里 | 大蔵村をひろきます。 |

深甚なる敬意を表します。今、改めてこれまでの村の歩みを振り返りますと、戦後の混乱期を経て生活基盤の近代化が図られた昭和の時代は社会資本の整備とともに度重なる災害に見舞われ、その復興に多くの労力を費やした時代だったと思います。また、村制施行100周年とともに幕開けした平成の時代は、村民のゆとりある生活を実現するための施策が多く行われてまいりました。

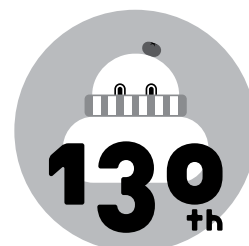
平成時代終盤の10年間を計画とした、村の第3次総合計画でも「むら美しく・人いきいき・キラリおおくら」を標榜し、一人ひとりの村民が個性豊かに生活できる、安心・安全な村づくりに意を配してまいりました。そしてこの度、村制施行130周年の年に令和という新たな時代を迎え、さらなる生活の質的向上と真の豊かさを求めて、時代の変化を的確に捉えながら、人育ての環境づくり、地域特色を活かした産業振興、生涯すこやかに暮らす地域づくりを大きな柱として、持続可能な明るく、優しく、元気な村づくりを

進める決意を新たにしたいところでございます。

現在、私たちの村は少子化とともに若い方々の転出が続き、人口減少に歯止めがかからない状況でございます。しかし、子どもたちの夢と希望がかなえられ、若い人たちが誇りをもって住んでいただける村を築くため、今の時代を生きる私たちは、協働の精神のもと、心を一つに、先人の意志を受け継ぎ、この村を私たちが引き継いだときよりも、損なうことなく、より偉大に、よりよく、そしてより美しくして、次の時代に引き継いでいかなければならない責務を負っているものと思えます。

私たちの村は、人口規模では山形県で一番小さな村ではありますが、村民憲章に掲げる「やすらぎの里」を育て、「かたりつぐ里」を守り、「ゆたかなる里」を築き、「いきがいの里」を作り、「やくしんの里」を拓くべく、努力してまいります。

小さな村だからこそできる、村民の顔が見えるむらづくりにご理解とご支援をお願い申し上げます。



大蔵村村制施行130周年

明治22年の町村制施行から合併・統合をすることなく、大蔵村は村制施行130周年を迎えました。今年度は130周年記念事業を実施し、PRしています。今回の特集では、11月3日(日)に実施した村制施行130周年記念式典と祝賀会、そして大蔵村のこれまでの歴史などを振り返ります。

村制施行130周年記念式典・祝賀会

11月3日(日)、大蔵小学校を会場に村制施行130周年の記念式典が行われました。村の関係者や団体の代表、そして一般の参加者など、約150名が出席しました。式典では、オープニングアトラクションとして、コールさざりんどうのみなさんによる大蔵村讃歌の合唱、大蔵小学校6年の伊藤晴日さん(合海)、高橋柚稀さん(合海)、國分累心さん(合海)、大蔵中学校3年の佐々木瑞生さん(肘折)による村民憲章唱和が行われました。また、130周年記念事業として今年度製作している季節ごとの村紹介動画の一部が上映されました。式典の締めくくりには、大蔵村保育所の年長児が登場し、元気いっぱい踊りを披露してくれました。

式典後には、祝賀会が中央公民館で行われました。大蔵太鼓保存会による太鼓の演奏や合海田植え踊り保存会による田植え踊りと大黒舞が披露され、祝賀会は盛況に執り行われました。

先人の意志を受け継ぎ、次の時代へと

大蔵村長 加藤正美

大蔵村は明治22年町村制施行とともに誕生して以来、一度の合併も経験することなく、新たな令和の時代を迎えた本年、村制施行130周年という節目を迎えました。これまで、明治、大正、昭和そして平成とそれぞれの時代に言葉では言い尽くせない多くの困難を乗り越え、村の歩みを支え、今日の大蔵村の礎を築いていただきました先人の方々、そして関係皆様方から感謝申し上げますとともに、





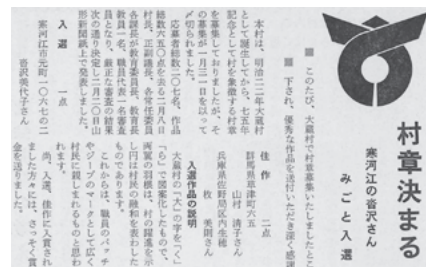
大蔵村130年間のあゆみ

大蔵村の誕生。そして5つの時代を経て130周年。村のあゆみをふりかえります。

昭和													大正					明治																			
47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	35	34	33	31	29	28	27	22	21	20	10	6	15	13	12	9	6	4	2	43	35	33	30	28	26	24	22
村観光協会設立／最上広域市町村圏事務組合ごみ処理場完成	最上広域市町村圏事務組合設立／特別豪雪地帯に指定	肘折発電所完成／南山中学校が大蔵中学校に統合	清水堤防完成／地籍調査開始	大蔵村保育所開所	沼の台地区に東北初の生乳輸送パイプライン完成／雪上車が配備される	升玉地すべり発生（死者8名）／振興山村地域に指定される	「村章」を公募により制定	肘折簡易水道完成／清水・肘折間冬期間もバス運行開始／国分忠之助氏名誉村民第一号認定	大蔵村児童館設置（児童129名。保母3名）	村役場鉄筋コンクリート造新庁舎完成／湯の台共同放牧場完成／稲沢の渡船場ワイヤロープ渡船となる	高松宮殿下再度御来村／大蔵小学校で完全給食はじまる／大蔵村商工会発足	広報おくら創刊号を発刊	赤松地区簡易水道完成／高松宮殿下御来村／葉山分校廃校	第1回村民運動会開催	上竹野簡易水道完成	稲沢渡船場水難事故発生（児童9名死亡）／大蔵小学校新築	肘折砂防ダム完成／南山小中学校全焼	沼の台・肘折に新制中学校を新設／歌人斉藤茂吉が肘折を訪れる	清水台開拓地に15戸／深沢開拓に入植	終戦	沼の台・土合隧道トンネル完成	大蔵橋鉄橋となる	深沢発電所設立	清水大火（住宅43戸、土蔵2棟、小屋9棟焼失）	柳洲地区大地すべり発生	肘折行き乗合自動車運行はじまる	大蔵村役場木造2階建庁舎完成	大蔵村役場焼失	永松鉱山自家発電所完成／冷害のため大凶作	大蔵村役場焼失	清水・肘折間の県道開通／上竹野開墾はじまる	私立永松尋常小学校開校	比良炭鉱採掘はじまる	コレラ大流行／肘折に隔離病棟できる	肘折に郵便局ができる	藤田沢に清水尋常小学校の分教場完成	山・赤松の各村を合併して大蔵村が誕生、役場を清水に置く



昭和42年 生乳輸送パイプライン完成



昭和40年 村章を公募により制定



昭和38年 村児童館設置



昭和37年 役場庁舎完成



昭和6年 大蔵橋が鉄橋となる



大正時代の肘折温泉の街並み

令和													平成																							
元	30	29	27	26	25	24	23	21	19	18	17	16	12	11	9	7	6	4	3	元	63	62	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	
村制施行130周年記念式典挙行／肘折防災センター完成	肘折観測所にて積雪深445cmを記録（2月13日）／大蔵村農産物加工施設完成／交通死亡事故ゼロ6000日達成	村営バス「肘折ゆけむりライン」運行開始	大蔵村公式キャラクター「おおくらくん」誕生	沼の台保育所／沼の台防災センター完成	肘折希望大橋完成	子育て支援住宅「どんぐり」完成／肘折地区で地すべりが発生	東日本大震災発生（村震度5弱）／村内全域で光ファイバー通信サービス開始	沼台小中・肘折小中・大蔵小、大蔵中が統合し、新たに大蔵小学校、大蔵中学校として発足	肘折温泉開湯1200年	赤松小・南山小・大蔵小3校が統合、新たに大蔵小学校として発足	「日本で最も美しい村」連合に加盟	特定環境保全公共下水道清水処理区供用開始／四ヶ村棚田ほたる火コンサートがはじまる	「四季の里」地区誕生／村営バス運行開始／南山小学校柳沢分校閉校	「四ヶ村の棚田」日本の棚田百選に認定／大坪地区簡易水道給水開始	肘折いでゆ館／ふるさと味来館オープン（29.48m）ギネス認定	世界一の雪だるま「おおくら君」誕生	カルデラ温泉館オープン	主要地方道新庄大江線国道昇格／紅花園体ゲートボール大会開催	大蔵村診療所開業／肘折温泉が国民保養温泉地に指定	村制施行100周年記念式典挙行／村民憲章制定／塩・藤田沢地区簡易水道完成	防災行政無線通信施設開局	肘折地区特定環境保全公共下水道完成	大蔵村運動公園（野球場）完成／役場庁舎増改築工事完成	大蔵村へき地診療所（歯科）開設	藤田沢分校及び大坪冬季分校を廃止しスクールバスを運行	湯の台生産物直売所完成	主要地方道新庄大江線全線開通	藤田沢地区地すべり発生／大蔵村保育所通園バス運行を開始	大蔵村中央公民館完成	肘折小中学校移転新築完成	後藤榮氏名誉村民第二号認定	山に新庄変電所操業開始	白須賀地区簡易水道給水開始／清水独活	沼の台保育所開所／土合トンネル完成	赤松山崩れ災害発生（死者17名、負傷者13名、全壊家屋20棟）／清水・台海簡易水道完成	肘折保育所が開所／広域消防大蔵分署業務開始／ごみ収集運搬処理開始



平成30年 肘折で積雪深445cmを記録



平成27年 おおくらくん誕生



平成24年 子育て支援住宅完成



平成11年 四ヶ村の棚田が 棚田百選に



平成元年 村制施行100周年



昭和54年 中央公民館完成



昭和49年 赤松山崩れ災害

地域のこれからを語る。



肘折青年団のみなさん
旅館や商店など職業はさまざま、
地区作業も担う元気なみなさんです。

懐かしい思い出を語る。



陽だまりサロンの会(比良稲沢)のみなさん
月1回、地区公民館で体操やお話をしています。
楽しく、笑顔のステキなみなさんです。

地域のこれからについて 肘折青年団のみなさんにお聞きしました

肘折温泉の今、
そしてこれから

肘折はお湯がいい。このお湯のよさは自慢できると思っています。最近、肘折温泉では一人旅の方も多く見かけるようになりました。その一人旅の方に「去年も来てましたよね」と声をかけると、話が弾むことも多くあります。実はお客さんも地元の人とのふれあいを求めているのだと感じています。また、お客さん同士、お風呂で意気投合し、湯仲間として仲良くなっていることもあります。これは昔からのことで、相部屋になったお客さん同士で意気投合して「来年またこの時期に会いましょう」ということもあったようです。湯治文化の良い部分ですね。肘折温泉に異業種の人

が集まればおもしろいのではないかと考えています。私たちが湯治場としてこうしてほしいとお客さんに提案してもなかなか思っただようにはいきません。肘折のコアなファンもいらっしやるので、肘折を好きな人が楽しめる仕組みづくりを考えています。

肘折朝市はこれからも続いてほしい。朝市の時間に外に出ると、「こんなにお客さんが泊まっていたんだ」と思うくらい人が多いことに気づきます。人が行き交うきっかけが朝市。朝市のある風景が肘折温泉の風景とも言えますね。

そして、10年後も住みやすい地域になってほしいなと思います。やりたいことはたくさんあります。これから、肘折ならではの特色を出していければと考えています。

懐かしい大蔵村での思い出を 陽だまりサロンの会のみなさんにお聞きしました

不便だったけど
楽しかった日々

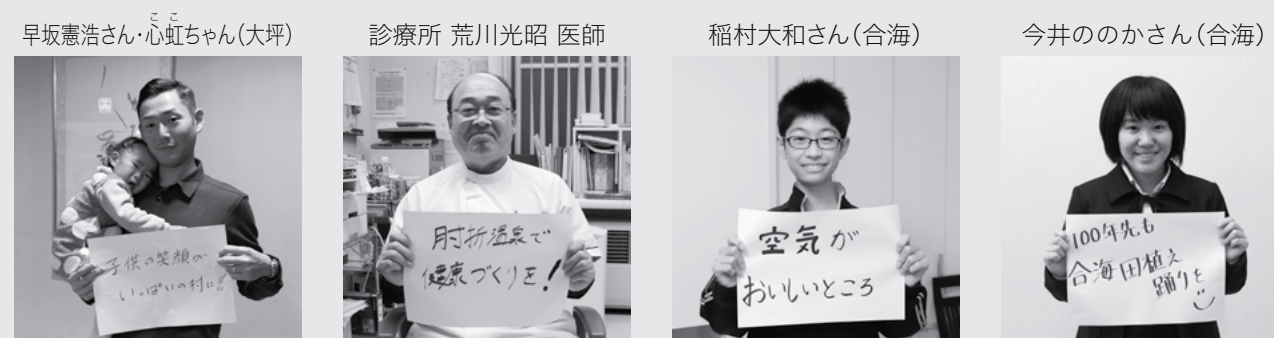
車がなかった時代は、何でも船に乗せて運んでものでした。酪農が盛んだので、牛乳を缶に詰めて清水の注入所へ運んでいました。ひとつの家に牛やヤギ、ニワトリ、人が一緒に住んでいました。大きくなつたニワトリは正月のご馳走として食べていました。昔、肉はなかなか食べるのができなかったので大変楽しみだったことを覚えていています。

最上川は遊び場でした。川の砂で遊んだり、いたずらで船を揺らして、ひっくり返してしまったりしたこともありました。白い旗が見えると最上川を泳いで良いという印で、よく泳いでいました。白須賀側から清水側まで中州を経由しながら泳いでいました。遊泳開始が我慢で

きずに泳いでしまい、学校の先生から叱られる子どもも多くいました。昔はきつかねがったものな。地区のいも煮会も思い出のひとつ。川の石と薪を集めてそれをかまどに、じやがいもとくじら肉を入れて。中学校に入ると学校行事で、通りの橋まで鍋を持っていくのも煮会に行きました。誰がどの材料を持つていくのかを役割分担し、材料を背負っていきました。しょうゆは高級だったので、自家製のみそで味付けしたものでした。

冬にはわら靴にわら布団、温かかった記憶があります。春が待ち遠しくて、いち早く春を味わいたくて、トタン屋根の上でお昼ごはんを食べた記憶も。その頃の暮らしは、自然に優しくて、無駄のないもの。まさに暮らしの知恵というものです。

大蔵村のみなさんにお聞きしました！ 大蔵村のここが好き！ここを残したい！



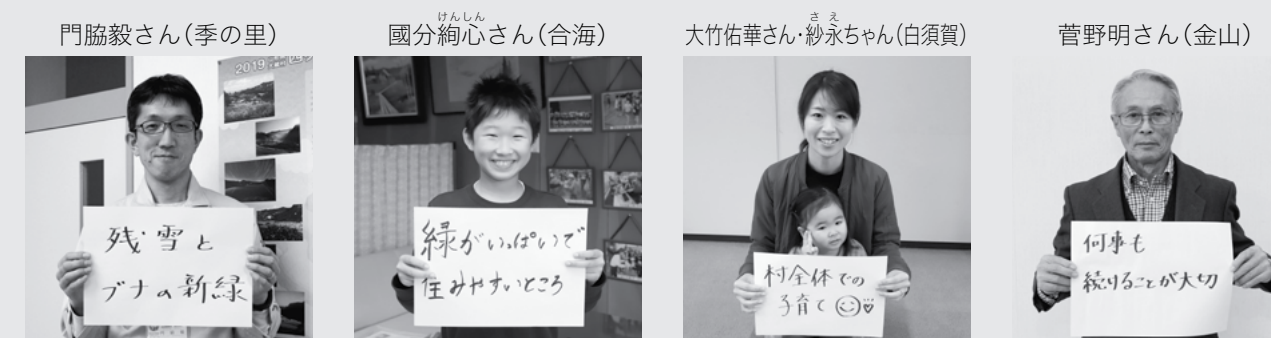
早坂憲浩さん・心虹ちゃん(大井)

診療所 荒川光昭 医師

稲村大和さん(合海)

今井ののかさん(合海)

こんな村になってほしい！



門脇毅さん(季の里)

國分絢心さん(合海)

大竹竹華さん・紗永ちゃん(白須賀)

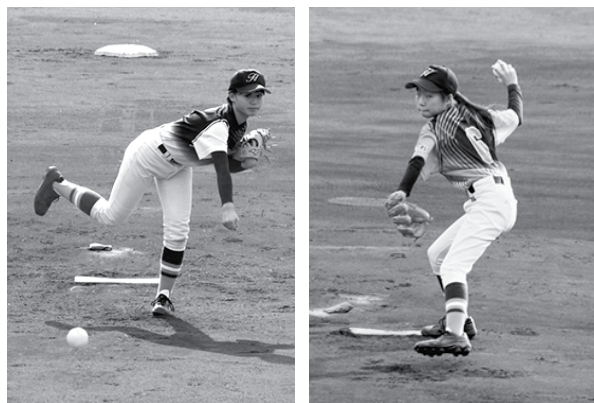
菅野明さん(金山)



▲ 建設工事が進む升玉水力発電所

升 玉水力発電所の現場見学会

11月2日(土)、升玉水力発電所建設現場見学会が行われました。升玉水力発電所は村の水資源を活用した再生可能エネルギーの開発のため、特定事業目的会社を設立して進められています。地域住民を中心に20人が建設現場の見学に訪れました。12月上旬で今年度予定していたコンクリート構造物の構築や放水口などの工事が終了し、全体の約60%の工事が完了しています。来年は雪どけの状況をみながら、3月中旬からの工事再開を予定しています。



▲ 投打で活躍した早坂美来さん(左)、土田詩依さん(右)

ガールズ野球大会に出場

11月3日(日)、山形市のきらやかスタジアムで開催された山形県ガールズ野球大会に大蔵一球スポーツ少年団に所属する土田詩依さん(合海)と早坂美来さん(白須賀)が出場しました。最上・北村山・西村山地区の合同チーム「山形スーパーガールズ」の一員として出場し、土田さんと早坂さんはそれぞれ1試合ずつ投げ、完封でチームの勝利に大きく貢献しました。また、得点につながる打撃も光り、2人が所属した「山形スーパーガールズ」が見事優勝しました。



▲ つるつるすべるなめこに大苦戦の箸つまみ競争

第55回肘折温泉郷なめこ・こけしまつり

11月11日(月)、肘折いでゆ館で肘折温泉郷なめこ・こけし祭りが開催されました。約700食のなめこ汁は鶏がらの出し汁、肘折の原木なめこ豆腐、小屋屋造の酒かすと大蔵村の食材がふんだんに使われました。新潟市から家族4人で訪れた小学1年生の高橋李央くんは「なめこが大きくておいしかった。なめこ大好き」と話してくれました。なめこ箸つまみ競争では早坂久美さん(東根市)が2年連続で優勝しました。他にも肘折こけしの即売会や利き酒などが行われました。



▲ 県内4地域の代表によるパネルディスカッション

やまがたの棚田サミット

11月14日(木)、村内を会場にやまがたの棚田サミットが開催され、県内で棚田の保全などに取り組む82名が参加しました。四ヶ村の棚田の見学や農林水産省農村振興局の植野栄治地域振興課長による基調講演、県内4地域の団体によるパネルディスカッションが行われました。パネルディスカッションでは農地保全や地域おこしの取り組みが紹介され、大蔵村からは四ヶ村棚田保存委員会代表の中島敏幸さん(豊牧)が四ヶ村での取り組みを発表しました。



▲ アメリカ出身の先生と楽しくコミュニケーション

英語でコミュニケーション

10月21日(月)から22日(火)までの1泊2日で小学6年生を対象に英語でコミュニケーションを取る宿泊学習「イングリッシュキャンプ」が開催されました。アメリカ出身の3名の先生をお迎えし、ゲームなどを交えて楽しみながら学習をしました。夕食ではアメリカの家庭料理「スロッピージョー」というハンバーガーを調理しました。アメリカ出身の講師は「英語は積極的に話すことが大切。チャレンジ精神が旺盛な子どもたちでした」と英語で話してくれました。



▲ 提案したレシピの試食も行われました

中学生による村ポスターセッション

10月26日(土)、大蔵中学校で開催された大中祭で、将来どのような村にしていきたいかをポスターにして提案する「ポスターセッション」が行われました。総合的な学習の時間で地域や企業に訪問を行い調べ、考えた新しい産業や特産品を使ったレシピなど様々な提案が発表されました。「100歳になっても明るく健康で生きられる村」をテーマにグループ発表をした佐藤歩希さん(藤田沢)は「笑うと健康寿命がのびるという研究結果がある。家族とたくさん笑ってほしい」と呼びかけました。



▲ 人力車に乗っていきまーす!

肘折人力車に乗せてもらったよ

10月28日(月)、大蔵村保育所で肘折人力車の乗車体験が行われました。人力車の引き手を務める佐藤剛夫さん(肘折)が「人力車に乗る機会の少ない大蔵村保育所の子どもたちに良い思い出を残してもらいたい」と企画したものです。年少から年長までの子どもたち全員が順番に乗り、いつもとは違う人力車からの眺めを味わいました。梁瀬聖希くん(合海)は「人力車が大好きになった。また乗りたい」と満面の笑顔で感想を話してくれました。



▲ 出来上がったつみきで「何をつくろうかな〜?」

杉の積み木づくり

11月1日(金)、大蔵村保育所でみどり環境交付金を活用した木育推進事業が行われました。子どもたちは県産の杉で作られた積み木の角を削る仕上げ作業を体験しました。「木のいいにおいがするよ」と積み木を手に取り、真剣なまなざしで紙やすりを使って削っていました。小林睦空くん(合海)は「やすりがけは楽しい。ぼく大工さんになりたい」と話してくれました。積み木が完成すると、きりんや飛行機を組み立てたり、自分の身長よりも高く積み上げたりして遊びました。



収穫の秋！味覚の秋！芸術の秋！おおくらまるごと！

おおくら大産業市

10月27日(日)、大蔵村中央公民館でおおくら大産業市が開催されました。秋の収穫を喜ぶ餅をメインとし、餅つきや餅まき、雑煮餅やあめ餅などの振る舞いが行われました。また、村内外の自慢の品がそろったテント村も立ち並び、訪れた人々は秋の味覚を味わいました。合海田植え踊り保存会や大蔵太鼓保存会による伝統芸能の披露、大蔵中学校吹奏楽部による演奏、大蔵村保育所園児の踊りやキッズダンスの披露など大蔵村がギュッとつままった贅沢な一日となりました。



①②豊年餅まき ③合海田植え踊り保存会「タウエーズ」 ④大蔵太鼓保存会による「月山葉山太鼓」 ⑤提供された納豆餅 ⑥⑦ホンモロコのつかみどり ⑧テント村での販売の様子 ⑨メゴ☆キッズohkuraiによる「キッズダンス」 ⑩大蔵中吹奏楽部 ⑪ステージ発表にたくさんの拍手 ⑫大蔵村保育所園児による元気いっぱいの踊り ⑬テント村での販売の様子



ヨイショー

ヨイショー

ヨイショー



元メジャーリーガーの岩村明憲さんから 大蔵小学校児童へボールのプレゼント



10月に開催された村教育講演会の講師、岩村明憲さんから大蔵小学校児童168名全員にボールがプレゼントされました。岩村明憲さんは元メジャーリーガーで、現在は福島レッドホープスの監督を務めている傍ら、「AKI PROJECT」として野球を通じて体を動かす楽しさや夢を持つ素晴らしさを子どもたちに伝える活動をしています。

10月28日(月)、大蔵小学校にボールが届き、子どもたち一人ひとりにボールが渡されると子どもたちは大喜び。6年生では早速、数人のグループになってのキャッチボールが行われました。岩村さんありがとうございました。

地面出し競争 World Cup in 肘折が 「未来かがやくやまがた景観賞」の最高賞を受賞

山形経済同友会が地域振興や元気な未来づくりに取り組む人々の様子が反映された、景観や活動を表彰する「未来かがやくやまがた景観賞」の最高賞となる県知事賞に「地面出し競争World Cup in 肘折」が選ばれました。

地面出し競争は旧肘折小中学校の雪上運動会の名物競技で、現在はNPO法人Oh蔵SPORTが引き継ぎ国際大会として開催しています。豪雪で有名な肘折温泉ならではの冬の楽しさを味わうことができ、参加者の多くが前日から肘折温泉に宿泊するなど観光面での効果も大きいイベントとなっています。



門脇里奈さん(滝の沢)の標語作品が 「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動の標語で最上地区最優秀賞を受賞



山形県青少年育成県民会議が主催する「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動のいじめ防止標語で、大蔵小学校5年門脇里奈さん(滝の沢)の作品が最上地区最優秀賞に選ばれました。門脇さんは一人ひとりが相手に優しくできるようなクラスにしたいとの想いから「受けとめて あなたの周りの SOS」の標語を考えたといいま。受賞に「最優秀に選ばれるとは思っていませんでした。びっくりしています」と話してくれました。

10月27日(日)に新庄市で開催された山形県青少年健全育成県民大会に出席し、表彰を受けました。



＜前列左から＞齊藤緑さん(肘折)、早坂絵梨奈さん(肘折)、吉村美栄子県知事、加藤正美村長、笹原彩葉さん(肘折)、佐藤溪人さん(合海)＜後列左から＞須藤勇司最上総合支庁長、鈴木翔大さん(上竹野)、小屋圭一郎さん(清水二)、石川竜美さん(豊牧)、高橋竜也さん(大坪)、國分武さん(通り)、伊藤貴之さん(合海)

知事と若者の地域創生ミーティング in 大蔵村

11月6日(水)、赤松生涯学習センターで「知事と若者の地域創生ミーティング in 大蔵村」が開催されました。このミーティングは、人口減少が進行し、地域で暮らす若者が減少している中、若者の豊かな発想や行動力を地域づくりに生かしていくため、吉村知事が市町村に訪問する形で実施されています。今回、大蔵村では高校生から40代までの10名が参加し、吉村知事と車座になって地域の元気について意見を交わしました。

吉村知事はミーティングに先立ち「大蔵村に住んでいる人たちがお互いに想いをもち、それを共有し、助け合えたらよいと思ってミーティングを開催しています」とあいさつし、加藤村長の進行で参加者の自己紹介からミーティングが始まりました。

肘折で商店を営む参加者からは「湯治の文化を残したい」との思いや「使われていない建物を借りて小さな図書館のようなものをつくりたい」、建設業

を営む参加者からは「10年後、15年後、持続可能な村にするためにはどうしたらよいかを考えています」との考えが話されました。農業を営む参加者からは「持続可能な農業をととしての地域づくりをしたい」といった目標や「農繁期の人手不足」の悩み、「同世代で農業をしている仲間の存在」の大きさについての考えが話されました。高校生からは「ジモト大学を通じて、大蔵村のいいところを知った。若い人はSNSをよくみるので、SNSを使って大蔵村の魅力を発信していけばどうか」との意見などが話されました。

吉村知事は「みなさんそれぞれの考えや想いを語っていただきました。これからもそれぞれの立場で生き活きと生活して行ってほしい。良いところは、たくさんあります。みなさんで支え合い、刺激し合い、大蔵村を活性化して行ってほしい」とミーティングを締めくくりました。

償却資産の申告を！

役場住民税務課 税務係 ☎75-2103(内線252)

▶償却資産

償却資産は、大蔵村内で事業をしている方が事業のために用いることができる土地・家屋を除く固定資産(構造物・機械・装置・車両・工具・器具・備品など)をいいます。

▷償却資産申告の締切

令和2年1月31日(金)

▷申告が必要な方

- 毎年1月1日現在、村内で事業をしている方で事業用の資産を所有している法人や個人
- 毎年1月1日現在、償却資産を貸し付けている法人や個人

▷申告提出書類

- 償却資産申告書
- 償却資産明細書

※前年度、償却資産の申告を行った方には、前年度の償却資産状況の申告用紙をお送りします。1年間の償却資産の増減を加筆または修正して提出してください。

▶異動のあった償却資産

償却資産の名称、取得年月日、取得金額、耐用年数等を記入してください。所得税申告や農業申告で経費計上しているすべての減価償却資産が申告対象となりますので、必ず整合性を確認ください。償却資産申告書にはマイナンバー(個人番号)または法人番号を記載し、代表印を押印のうえ提出してください。

記帳・帳簿の整理は進んでいますか？

役場住民税務課 税務係 ☎75-2103(内線252)

▶確定申告の準備を進めましょう

平成26年1月から、記帳・帳簿等保存制度により、個人で営業・農業・不動産の貸し付け等を行うすべての方は記帳と帳簿の保存が義務となっています。記帳する内容は、売り上げなどの収入金額や仕入れなどの経費です。確定申告の時期が近づいてきましたので、事前に準備をしておきましょう。

小型特殊自動車のナンバー登録

役場住民税務課 税務係 ☎75-2103(内線252)

▶軽自動車の課税

乗用装置のあるトラクター、コンバイン、田植え機、小型特殊自動車に該当するフォークリフトなどには、軽自動車税が課税されます。これらの車両を所有している人は、軽自動車税の申告をしてナンバープレート(課税標識)の交付を受けてください。

※軽自動車税は、公道走行の有無に関わらず、所有していることについて課税されます。

給与支払報告書は1月末まで

役場住民税務課 税務係 ☎75-2103(内線252)

▶給与支払報告書にはマイナンバーを記載

給与支払報告書は、法人・事業主等が従業員等に対して平成31年1月1日から令和元年12月31日までに支払った給与額などを市町村へ報告する書類です。給与支払報告書にはマイナンバー(個人番号)の記載が必要です。

▷提出が必要な方

法人・個人事業主を問わず、従業員等への給与の支払い(日雇い・アルバイトを含む)があった場合は「給与支払者」に該当し、給与支払報告書を市町村へ提出しなければなりません。給与支払報告書の提出は、給与支払者の義務となっています。提出しなかった場合や虚偽の記載をした場合は、給与支払者が罰せられることがあります。(地方税法第317条の6、7)

▷提出書類

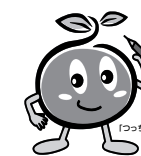
- 給与支払報告書(総括表)
 - 1 事業所につき1部
- 給与支払報告書(個人別明細書)
 - 1 名につき2枚

▷提出先

法人・個人事業主は賦課期日(令和2年1月1日)現在、大蔵村に住所のある従業員等の給与支払報告書を令和2年1月31日(金)まで住民税務課に提出してください。

農林業の今を知り、未来へつなげる

2020年農林業センサス



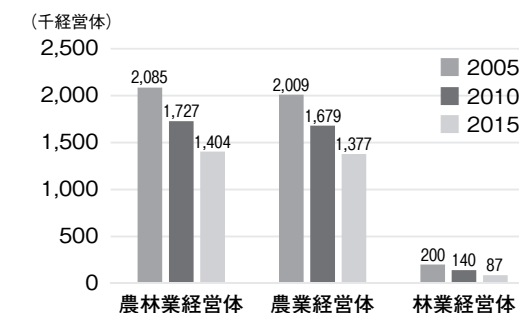
12月から調査票を配布します
ご協力をお願いします

役場総務課 政策推進係 ☎75-2111(内線213)

▶これまでの農林業センサスの調査結果から

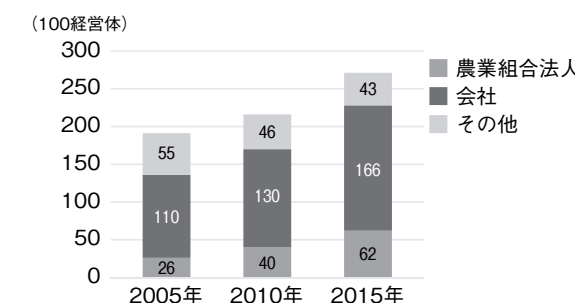
農林業経営体数の推移

農林業経営体数は2015年の調査で5年前と比べて18.7%減少したという結果が出ています。



法人経営の進展

法人経営体数はこの10年間で40%以上増加しているという結果が出ています。法人による常雇いの雇用者数も増加しており、雇用の拡大につながっています。



▶農林業センサス

農林業センサスは令和2年2月1日基準日で全国一斉に行われる統計調査です。日本の農林業の生産構造や就業構造、土地資源などを調査し、これからの農林業の政策に役立てられます。

▶対象

農林業を営むすべての農家・林家・法人

▶調査期間

令和元年12月～令和2年2月まで

▶調査は2種類あります

- 農山村地域調査(農業集落調査)

農業集落が対象です。草刈や水路の泥あげなどの地域活動状況などを調査するため、東北農政局から農事代表のみなさんに調査をお願いしています。
- 農林業経営体調査

農林業を営んでいるみなさんの経営状態、労働力、作業の受託、農産物の販売などを調査します。各区の統計調査員が調査票の配布と回収を行います。

▶オンラインによる回答が便利です

パソコンやタブレットによるインターネット回答がおすすめです。空いている時間で24時間、回答ができますので、ぜひご利用ください。



除雪ボランティア登録者を募集中！

村社会福祉協議会 ☎75-2104(内線273)

▶除雪ボランティアに登録ください

雪かきが困難な高齢者世帯などでの除雪のお手伝いをしてくださるボランティアメンバーを募集しています。ぜひ、ご登録ください。

▷活動日程

令和2年1月から3月までの期間(1回~2回)午前9時から正午まで

※詳細は登録後にお知らせします。

▷活動範囲 大蔵村内

▷登録資格 大蔵村居住の方

▷申し込み

申込用紙は村社会福祉協議会にありますので、ご連絡ください。また、村ホームページからダウンロードできます。

▷その他

- 除雪場所への現地集合が基本となります。
- 除雪に必要なスノーダンプやスコップなどの用具は持参ください。
- 主催者側でボランティア活動保険に加入します。



家屋を取り壊したときの手続き

役場住民税務課 税務係 ☎75-2103(内線252)

▶家屋を取り壊したときの固定資産税の手続き

家屋(住宅・車庫・作業所など)を取り壊したときは、登記の有無により以下の手続きが必要です。



▷登記されている家屋を取り壊した場合

法務局で「滅失登記」の申請をしてください。この場合、役場への届出等の手続きは必要ありません。

ただし、滅失登記の申告が令和元年12月までに完了しない場合は、12月末までに「建物滅失申告書」を役場住民税務課まで提出してください。

※建物滅失申告書は住民税務課でお受け取りください

▷登記されていない家屋を取り壊した場合

取り壊し後すぐに「建物滅失申告書」を住民税務課まで提出してください。

課税の基準となる令和2年1月1日に家屋が存在していた場合には、令和2年度の固定資産税は課税されます。なお、令和元年以前に滅失した家屋についても、令和2年1月1日以降に届出した場合は原則、令和2年度は課税の対象となりますのでご注意ください。

▶建物の滅失の確認を行います

手続き後は、役場住民税務課職員が現地に出かけ、建物の滅失確認をします。12月まで確認が完了したものは翌年度からその家屋の固定資産税は課税されません。



▶ご注意ください

- 住宅用の家屋を取り壊した場合、土地に対する固定資産税の税額が高くなる場合があります。住宅が建っている土地(住宅用地)は「住宅用地に対する課税標準の特例」が適用されており、住宅用地以外の土地に比べて税負担が低く抑えられています。住宅を取り壊した場合、この特例の適用から外れ、税率が高くなる場合があります。
- 家屋(住宅・車庫・作業所など)を新築・増築した場合は、家屋調査の対象となります。担当職員が訪問し、評価額(税額)を算出しますので、ご協力をお願いします。

日本一雪に強い村を目指して

— 村道は除雪車15台体制で路線確保 —

役場地域整備課 維持管理係 ☎75-2102(内線223)

▶今年の除雪体制

村内6基地に15台の除雪車を配備し、公共・公益性の高い順に作業を行い、生活路線の確保に全力をあげていきます。

▶除雪車が出動する目安

除雪車は原則、10cm以上の降雪があった場合に出勤します。道路の路面状況が悪化した場合には、状況に応じて路面を整備します。

▶作業完了の目標時間

作業は午前7時30分までに終了することを目標としています。大雪の日など、作業の進み具合によって遅れることもあります。その際はご了承ください。



・・・安全で効率的な作業を行うためのお願い・・・

※除雪についての要望は、必ず地区代表を通じてご連絡ください。

⚠ 道路に雪を出さないで！

各家庭等の雪を道路に出しますと、除雪作業に時間がかかり遅れが発生してしまいます。また、交通事故につながる可能性もあります。宅地内の雪の処理は空き地等を利用するなどして、道路に雪を出さないでください。

⚠ 除雪作業中は近づかないでください！

除雪作業は危険が伴います。作業中は決して近づかないでください。また、除雪作業中の道路では決して子どもを遊ばせないでください。

⚠ 除雪の障害物には赤い布を！

除雪作業に支障をきたす可能性のある障害物は、所在を明らかにするため、大きな赤い布をつけてください。

⚠ 路上駐車はダメ！

路上駐車は除雪作業の妨げとともに事故の原因となります。

⚠ 屋根から落雪した道路の雪は除雪しません！

屋根からの落雪が歩行者や自動車に直撃し、重大な事故が発生する恐れがあります。このような事故がおきた場合は、建物所有者の責任になりますので、雪崩止めの設置をするようにしてください。なお、雪崩止めの設置については村住宅リフォーム補助金制度を活用することができます。

⚠ 流雪溝の蓋を閉めてください！

各家庭での除雪作業後に流雪溝の蓋を開けたままにしておくと、歩行者や自動車の転落事故につながり、大変危険です。投雪作業の後はもちろん、休憩などで一時的に離れる場合も流雪溝の蓋は必ず閉めるようにしましょう。また、蓋の閉め忘れや蓋がしっかり閉まっていない場合に除雪車が通過し破損した蓋は、役場や除雪業者での修繕は行いません。自己負担による修繕となりますので、ご注意ください。

**全国自治宝くじ発売中！
年末ジャンボ宝くじ**

2種類の年末ジャンボが12/21(土)まで販売しています。宝くじ売り場または宝くじ公式サイトでご購入ください。

宝くじの収益は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われています。

☎ 山形県総務部財政課
☎023-630-2044

**やまがた出会い
サポートセンター**

山形県・35市町村・経済団体を組織する「やまがた出会いサポートセンター」は、結婚を希望する独身者を応援するため、Webを活用し希望に合う相手を検索・閲覧、1対1のお見合いの申し込みができる会員制のマッチングシステムを運用しています。20歳以上でインターネット環境がある方ならどなたでもご登録いただけます。

●登録料 10,000円
●登録期間 3年

やまがた 出会い 🔍 検索

☎ 出会いサポートセンター事務所
☎023-615-8755

**労働保険
加入のお知らせ**

労働保険は、労災保険と雇用保険とを総称した保険であり、労働者を1人でも雇用している事業主は加入する義務があります。労働保険は、労働者が業務上・通勤途

新庄市夜間休日診療所

新庄市保健センター内に開設
☎29-6300
●診療科目 内科・小児科
●受付時間
夜間診療(月～土曜)
18:30～21:00
休日診療(日曜・祝日・12/31～1/3)
8:30～11:30/13:00～16:30
●問合せ先
新庄市健康課健康推進室 ☎22-2111

中で被災した場合の保険給付や失業した場合に支給する保険給付を行うもので、職場の安全、雇用の安定を図るために重要な役割を果たしています。従業員、パートタイマー、アルバイトなど労働者を1人でも雇っていれば今すぐ、労働保険に加入しましょう。

☎ 山形労働局労働保険徴収室
☎023-624-8225

**眠っているスキーウェアは
ありませんか？**

交流事業で沖縄から最上地域を訪れる児童のために、ご家庭で不用になったスキーウェアがありましたら、無償でお譲りください。

- 募集品目 小学校高学年用・大人用のスキーウェア
 - 受付場所 最上広域市町村圏事務組合事務局(総合開発センター)または最上管内の消防支署
 - 受付締切 12/26(木)
- ※クリーニングした状態のものや汚れの少ないものをお願いします。

☎ 最上広域市町村圏事務組合
総務課 ☎22-2674

**ご存知ですか？
筆界特定制度**

「筆界特定制度」は土地の筆界(境界)のトラブルを解決するため、法務局が現地における筆界の位置を特定する制度です。隣接地との筆界が分からず困っている方、筆

**編集
後記**

大蔵村にも冬の便りが届きましたね。今年は何のくらい雪が降るのでしょうか…おおくらくんは初雪がとつてもうれしそうです。今月号の表紙は村制施行130周年にちなんで、大蔵村の風景や特産品などを題材にした大きなイラストを作り、子どもたちと一緒に撮影しました。下絵はイラストの

界について隣地の所有者と意見が一致せずに困っている方は筆界特定制度をご利用ください。

☎ 山形地方法務局登記部門
筆界特定室 ☎023-625-1358

**令和2・3年度
国有林モニターの募集**

東北森林管理局は、国有林野の管理経営にみなさまの声を役立てていくため、モニターを募集しています。

- 内容 アンケートへの回答、現地見学会・国有林モニター会議への出席など
 - 任期 令和2年4月1日から2年間
 - 募集人数 48名程度
 - 募集締切 1/31(金)
- ※応募資格・応募方法など、詳しくは東北森林管理局ホームページをご覧ください。
- ☎ 東北森林管理局企画調整課
林政推進係 ☎018-836-2228

**山形県求職者総合支援センター
出張相談会**

- とき 12/13(金)13:00～16:00
 - 場所 トータル・ジョブサポート新庄(新庄合同庁舎2階)
 - 相談内容 求職者の生活、住まい、就職活動などの悩み
- ※相談は無料。予約不要。
- ☎ 山形県求職者総合支援センター
☎0800-800-7867

得意な職員が手がけてくれたものです!そして、色づけの一部は大蔵村保育所の子どもたちが丁寧に塗ってくれました。イラストと元気なおおくらくんの笑顔が印象的な表紙になりました。明治から続く大蔵村。長い歴史をふりかえると先人の努力に感謝の気持ちが湧いてきます。これからも永く大蔵村が続いていきますように。

大蔵村環境衛生通信 vol.65

おいしく残さず食べきろう!

▶食品ロス削減のために

日本では年間2,759万トンの食品廃棄物等が出されています。このうち、まだ食べられるのに廃棄されている「食品ロス」の量は643万トンと推計されています。

▶食品ロスによる問題

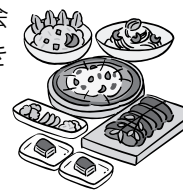
大量の食品ロスを廃棄するために多額の費用がかかっており、二酸化炭素の排出などによる環境負荷があります。また食品ロス発生の一方で、日本の子どもの貧困率は13.9%、約7人に1人が経済的に貧困な状況にあり、食事に困っています。

▶外食時の「おいしい食べきり」全国共同キャンペーン

食品ロスを削減することを目的に、忘新年会の多い12月・1月に外食時の「おいしい食べきり」全国共同キャンペーンを実施しています。

「宴会5箇条」

1. 適量を注文
2. 幹事さんから「おいしく食べきろう」の声がけ
3. 開始直後や終了前は、席を立たずにしっかり食べましょう
4. 食べきれない料理は仲間で分け合いましょう
5. それでも食べきれない料理はお店の人に確認して持ち帰りましょう



☎ 問合せ 役場健康福祉課 健康衛生係 ☎75-2104 (内線272)

読んであげたい今月の1冊に

絵本とお話の会 フレデリック

📖 今月の1冊 📖

「メリーメリー
クリスマス！」
作 岡村志満子



(くもん出版)

きょうはクリスマスです。4人のこどもたちが「おたすけたい」にへんしん。「クリスマスですよー。じゅんびはいいですか?」とよびかけます。もみの木やケーキ、おうちのイルミネーションのおてつだい。おたすけたいにもサンタさんはきてくれるでしょうか?

光りにかざしてから暗闇でみるとサンタが光る驚きのページつき!

- 中央公民館でかきことができます
- 読み聞かせ時間 3分

戸籍の窓

10月16日～
11月15日届出分

お誕生おめでとう

地区	お名前	保護者名
合海	蔵津 維乙くん	寿也

お悔やみ申し上げます

地区	お名前(年齢)	世帯主
滝の沢	門脇 サツ(93)	義美
平林	須藤 榮助(91)	英光
白須賀	早坂 實(82)	實

※届出の際に、掲載希望の確認を行っています。担当窓口にお申し出ください。

人のうごき

令和元年10月末現在
()は昨年同期

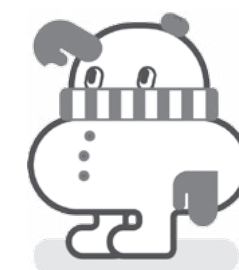
世帯数	1,057戸	(1,074戸)
人口	3,180人	(3,275人)
男	1,577人	(1,624人)
女	1,603人	(1,651人)
出生	男 2人	女 0人 計 2人
死亡	男 3人	女 2人 計 5人
転入	男 1人	女 4人 計 5人
転出	男 1人	女 0人 計 1人

12月の予定

- 3日(火) 人権擁護特別相談
- 5・6日(木・金) 村議会12月定例会
- 6日(金) 肘折保育所おゆうぎ会
- 9日(月) ふるさと味来館団子付け
- 11日(水) ヘルシーティース
- 13日(金) 育児相談
- 13日(金) 山形空港大蔵村キャンペーン

村税の納期限

- 🔗 税目 村県民税 第4期
国民健康保険税 第6期
 - 🔗 納期限 12月25日(水)
- 納期限まで忘れずに納税しましょう。口座振替の方は残高の確認をお願いします。





ORAENOMENGO

今月のおおくらっ子

村内の子どもたちを紹介しています。親戚やお友達、ご近所のお子さんの掲載もお楽しみに！



お名前 ^{たくと}長沼 拓音くん (一寿)
地区 合海
好きなもの お肉とスパイダーマン



お名前 ^{あおと}齊藤 蒼桜音くん (佑介)
地区 清水二
好きなもの 柿と太鼓



おもしろく人がみつけた
おもしろい
おもしろい
おもしろい

今月の「みつどろい」
おもしろい

35 眺望の森
湯の台

雪が降って
うれしいな
ステキな場所を
見つけたよ！

国道458号沿いの
とっても景色の
いい場所！

空気が透きとおっていて
きれいだな
春の眺めも
いいんだって！

見て見て～遠くにみえるあの山！
鳥海山だよ～！